

処理水の取扱いに関する宮城県連携会議の設置について

<会議の目的>

○ 東京電力福島第一原子力発電所における多核種除去設備等処理水の取扱いに関して懸念される影響について、県内の関係団体等の意見を集約し、国及び東京電力HDに対し責任ある対応を継続的に求めていくため、申し入れ内容を取りまとめることを目的とする。

<会議の運用方法>

○ 連携会議は、国や東京電力ホールディングスの関係者を招聘し説明を受ける場として、または、とりまとめた申し入れ内容について国のワーキングメンバーや東京電力ホールディングスに対し要望を行う場としても活用するものとし、必要に応じ年数回の開催を想定。

<国>
ALPS処理水の処分に
関する基本方針の
着実な実行に向けた
関係閣僚等会議
(実行会議)

- ◆議長 内閣官房長官
- ◆副議長 経済産業大臣
- ◆事務局長 経済産業副大臣
- ◆構成員 内閣官房副長官、他関係省庁大臣、原子力規制委員長

◆役割

- ・基本方針に定めた対策の着実な実行
- ・進捗のフォローアップ
- ・自治体・事業者等の影響確認
- ・新たな課題の抽出
- ・追加的な対策の検討

説明

ワーキンググループ

- ◆座長 経済産業副大臣
- ◆構成員 関係省庁（副大臣以下）
- ◆役割
- ・自治体や各業界などへのヒアリング
- ・有識者・専門家への意見聴取・アンケート調査の実施 等

東京電力HD

- ◆東京電力ホールディングス株式会社
- 本社
- 福島復興本社
- ・東北補償相談センター
- 福島第一廃炉推進カンパニー

<県>
処理水の取扱いに関する
宮城県連携会議

連携会議 [構成員18名]

- ◆座長 知事
- ◆副座長 副知事
- ◆構成員
- 【団体】〔10団体〕
- ・水産業関係 宮城県漁業協同組合、宮城県沖合底びき網漁業協同組合、宮城県近海底曳網漁業協同組合、宮城県産地魚市場協会、宮城県水産物流通対策協議会、宮城県消費地魚市場協会、宮城県食品輸出促進協議会
- ・農業関係 宮城県農業協同組合中央会、宮城県農業会議
- ・観光業関係 宮城県ホテル旅館生活衛生同業組合

- 【県議会】 副議長
- 【市町村長】 市長会会長、町村会会長
- 【県】 関係部局長

- ◆事務局 事務局長 復興・危機管理部長（関係部局副部長、原子力安全対策課）
- ◆役割
- ・関係団体の意見集約
- ・国、東電への申し入れ内容のとりまとめ
- ・処理水に係る情報共有

要望

水産部会 [構成員10名程度]

- ◆構成員
- 【団体】 宮城県漁業協同組合、宮城県沖合底びき網漁業協同組合、宮城県近海底曳網漁業協同組合、宮城県産地魚市場協会、宮城県水産物流通対策協議会、宮城県消費地魚市場協会、宮城県漁業信用基金協会
- 【県】 水産林政部長（座長）、担当課

- ◆役割
- ・風評情報データの共有
- ・水産業関係団体の意見整理

意見集約

水産支援チーム（県庁内）

- ◆リーダー 水産林政部副部長（技術担当）、副部長
- ◆サブリーダー 水産業振興課技術総括、水産業基盤整備課技術総括
- ◆チーム員 水産業振興課、水産業基盤整備課、国際ビジネス推進室、原子力安全対策課

- ◆役割
- ・風評情報データの収集・分析
- ・国へ求める支援策の整理 等

支援

関係県

福島県・茨城県

情報共有

